

# はじめに

本区は、2022(令和4)年4月に改定した「墨田区基本計画」において、「地域で快適に暮らせる『すみだ』をつくる」を基本目標に掲げ、魅力的な住環境を形成することを目指して、子育て世帯や高齢者世帯等の多様な世帯が、ライフスタイルに応じた住まいの水準や住み替えに満足し、良質な住宅で安全に安心して住み続けられる快適な住環境を実現するための総合的な住宅施策に取り組むこととしています。

2017(平成29)年に第6次墨田区住宅マスタープランを策定してから6年が経過し、この間、少子高齢化の進展に加え、新型コロナウイルス感染症を契機とした新しい暮らし方・働き方への意識の高まりなど、区民の住生活を取り巻く社会状況は大きく変化しました。

こうした中、区の人口は28万人を突破し、今後も増加が見込まれる一方、小さなお子さんがあるファミリー世帯の占める割合は減少しており、高齢単身者等が増加していることから、今後は子育て世帯を含めた若年層の定住支援や、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる住宅施策の充実が一層重要になります。加えて、SDGsの視点や、ゼロ・カーボン社会の実現に向けて、住宅の長寿命化を含めた既存住宅の有効活用など、次世代に継承できる住環境整備も進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、このたび策定した「第7次墨田区住宅マスタープラン」では、「人と人がつながり、誰もが安心して快適に暮らし続けることができるまち『すみだ』の実現」を基本理念とし、子育て世帯等若年層の定住促進、住宅の長寿命化、分譲マンションの適正管理の促進、居住支援の充実、自然災害に対する防災力の向上等に取り組み、多様な居住ニーズに応える様々な事業を推進することとしました。

今後も、区民の皆様をはじめ、事業者や団体の皆様との協働により、本プランに基づく住宅施策の着実な推進を図ってまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本プランの策定にあたり、御協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

2023(令和5)年3月

墨田区長 山本 亨

